１でのについて

１　に

|  |  |
| --- | --- |
|  | （） |
| ○　・にえて、・をしすべき。 | （たたき）の「の」ので、なのとして、・を。 |
| ○　をすべき。 | （たたき）の「の」ので、のについて。 |
| ○　「への」のが、のとべて、なじをける。 | （たたき）のとしては。あったについては、（たたき）の、のにりむことで。  ※　のは、「の」の「の」へ  ※　のは、「との・」の「の」へ |
| ○　の（）でのの。 | については、（たたき）の「の」の「の」のにめる。 |
| ○　・で、のが。 | については、（たたき）の「の」の「の」のにめる。 |

２　のにする

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| ○  のについて | ８の「がい」のにい、のを「」としてづけ、６までにをすことで、ろうあとしていたものです。 |
| ○　の  　　にえ、をしてしい。 | のでは、ののみがとされており、がなには、その、にさせていただくこととしています。 |
| ○　ろう・  ・　の  ・　・のの | については、やむをないによりがとめるは、をえたもめているところです。  のびのには、もうことから、ともしします。 |
| ○  ・　にるの  ・　のの | ののがまないとして、いのやなどのがえられることから、から、とそれのでのをうなどして、、のにめるとともに、をじて、ののにめているところです。 |
| ○  　　・にするため、をしたをしてしい。 | は、をするものであり、がなのをするものではないため、としてのはしいところです。 |
| ○  　にえ、・をつけてしい。 | は、がのため、のをえます。 |